

令和3事業年度

決 算 報 告 書

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

国立大学法人小樽商科大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人北海道国立大学機構小樽商科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,427	1,492	65	(注1)
施設整備費補助金	322	354	32	(注2)
補助金等収入	61	202	141	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	15	15	-	
自己収入	1,360	1,247	△112	
授業料、入学金及び検定料収入	1,326	1,215	△111	(注4)
雑収入	34	33	△2	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	151	132	△19	(注6)
引当金取崩	-	6	6	(注7)
目的積立金取崩	-	34	34	(注8)
計	3,336	3,482	146	
支出				
業務費	2,787	2,916	129	
教育研究経費	2,787	2,916	129	(注9)
施設整備費	337	369	32	(注10)
補助金等	61	81	20	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	151	130	△21	(注12)
計	3,336	3,497	161	
収入-支出	-	△15	△15	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金の追加交付及び授業料免除の追加配分があったことにより、予算額に比して決算額が65百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が32百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入には、予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が141百万円多額となっております。また、補助金等収入には授業料等減免費交付金が121百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料収入及び入学金収入が減少したため、予算額に比して決算額が111百万円少額となっております。
- (注5) 雑収入については、主に建物及び物件貸付料が減少したため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主に受託事業費等収入が減少したため、予算額に比して決算額が19百万円少額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、引当金による賞与及び退職金の支払いに伴い経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が6百万円多額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩の発生により、予算額に比して決算額が34百万円多額となっております。
- (注9) 業務費については、帯広畜産大学及び北見工業大学との経営統合による各種システム、施設等の整備を行ったことにより、予算額に比して決算額が129百万円多額となっております。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっております。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が20百万円多額となっております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由に加え、寄附金事業費が少額であったことから、予算額に比して決算額が21百万円少額となっております。